

しまねの河川と海岸だより

平成 27 年 12 月号

発行：島根県土木部河川課

〔12月号目次〕

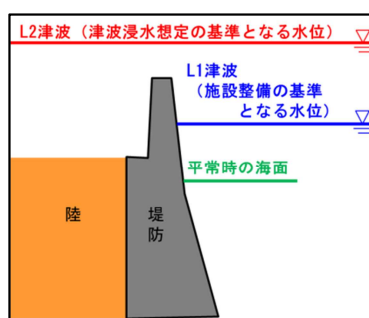
- | | |
|--|-------|
| 【第 1 回島根県地震津波防災対策検討委員会を開催 ～津波浸水想定を審議～】 | 河川課 |
| 【中海・宍道湖ラムサール条約登録 10 周年記念 「ラムサールフェア」開催!!】 | 環境政策課 |
| 【「平成 27 年度水防功労者国土交通大臣表彰」の受賞について】 | 河川課 |

第 1 回島根県地震津波防災対策検討委員会を開催 ～津波浸水想定を審議～

河川課企画調査グループ



上図：島根・隠岐沿岸図



上図：津波の概要図



上写真：委員会の様子

1. 経 緯

平成 23 年 3 月の東日本大震災後、「津波防災地域づくりに関する法律」が施行（同年 12 月）され、平成 26 年 9 月には、法律に基づいて国から、日本海における統一的な断層モデルが示されました。このことを受け、県は専門家による検討委員会を立ち上げ、津波浸水想定（L2 津波^{※1}）及び設計津波水位（L1 津波^{※2}）に関する検討を行うこととしました。

※1： L2 津波とは、ハード整備とまちづくりや警戒避難態勢の確立などを組み合わせた「多重防御」により、人命への被害を極力生じさせないことを目指す最大クラスの津波

※2： L1 津波とは、海岸保全施設の整備による対応を基本とし、人命、資産、国土等を確実に守ることを目指す比較的頻度の高い津波

2. 第 1 回委員会（平成 27 年 11 月 16 日）

河原荘一郎教授（松江高専）が委員長に選任され、次の議事の審議を行いました。

- ・本委員会での検討内容
- ・地域海岸の仮設定
- ・検討の流れ
- ・津波シミュレーションの計算条件設定
- ・想定地震（断層）の整理

3. 今後の予定

平成 28 年度中に津波浸水想定と設計津波水位の設定を目指します。

★委員会の資料、議事要旨等は島根県防災危機管理課ホームページの以下のアドレスに掲載しています。

http://www.pref.shimane.lg.jp/bousai_info/bousai/bousai/bosai_shiryo/tsunamibousai.html

委員会事務局：島根県防災部防災危機管理課

関係課：土木部河川課・港湾空港課、農林水産部農地整備課・漁港漁場整備課

※津波の検討、国交省協議等は、河川課（企画調査グループ）で担当しています。

中海・宍道湖ラムサール条約登録 10 周年記念 「ラムサールフェア」開催!!

環境生活部環境政策課

日本における最大の汽水域である「中海・宍道湖」は、多くの水鳥が生息する貴重な湿地として平成 17 年 11 月にラムサール条約湿地に登録され、今年で 10 年の節目を迎えました。

これを記念して、島根・鳥取両県では、中海・宍道湖・大山圏域市長会と連携し、ラムサール条約の趣旨である中海・宍道湖の保全とワイズユースのさらなる普及啓発を行うため、記念イベントとして、11 月 23 日（月）に、くにびきメッセ（松江市）で、「ラムサールフェア」を開催しました。

■ステージイベント

松江市立忌部小学校児童の皆さんによる「しじみソング」の歌と踊りでフェアがスタートし、ステージでは、中海・宍道湖の食材を使った料理実演&試食会、バルーンアートショーなど多彩な催しがありました。



オープニングは「しじみソング」



素敵な作品が完成!!

絵本作家村上康成さんのワークショップでは、子どもたちが、切り絵で作った「中海と宍道湖の生き物」を、両湖に見立てた画用紙に貼って作品を完成させました。



貝殻レプリカ作り

■体験コーナー

昔の中海の貝殻レプリカや缶バッジ作り、ミニ水族館、ボート体験などの体験コーナーで楽しんでいただきました。



クワガタボール（ミニ水族館）に興味津々

■グルメブース

中海・宍道湖の味覚として、しじみ汁無料サービスのほか、海藻米丼ぶり、スジアオノリの羊羹、しじみエキス入りクレープなどの販売がありました。



グルメブースも大賑わい!!

■活動団体ブース・展示コーナー

中海・宍道湖周辺で活動する団体の皆さんにPRブースを出展していただきました。

また、展示コーナーでは、子どもたちの学習成果を掲示するとともに、両湖の環境についてパネルや映像でわかりやすく紹介しました。



活動団体ブース

～終わりに～

今回の記念イベントは、「次世代へつなぐ豊かな恵み」をメインテーマに開催しました。

来場者の皆さまには、フェアのプログラムを通じて、中海や宍道湖から得られる恵みを感じていただくことができたのではないかと考えています。

このイベントが、私たちのかけがえのない財産である2つの湖を、より良い状態で次の世代へ引き継いでいくため、一人一人にできることを考えていただくきっかけとなることを願っています。

「平成27年度水防功労者国土交通大臣表彰」の受賞について

水防に関し著しい功績のあった5団体及び個人16名に対し、平成27年11月25日に国土交通大臣表彰が行われました。島根県からは水防技術の向上や伝承等に功労のあった者として、水防専門家の江角俊明様が受賞されました。

受賞者：江角 俊明 様 [水防専門家]

【功績の概要】

平成14年以降、島根県、鳥取県を中心に水防管理団体や水防団、国、県職員等に対し、出雲地方の伝統的水防工法である「出雲結(いずもゆい)」をはじめとする水防工法の指導を続けられています。また、昭和58年豪雨等の被害についての体験談や水防法の説明も含めた水防訓練、講習はこれまで13年間延べ39回に及び、水防技術の向上、伝承、普及に多大な貢献をされました。

河川課防災グループ



＜左：石井国土交通大臣、右：江角俊明様＞



＜表彰式の様子＞

表彰の概要【水防功労者国土交通大臣表彰】

水防活動に関し著しい功績のあった個人又は団体について、国土交通省が表彰を行うもの
(選考基準)

- 【団体】 1) 洪水等に際し、水防活動に従事し、被害の軽減に功労のあった団体
2) 水防体制の整備、水防思想の普及に尽力し、功労のあった団体

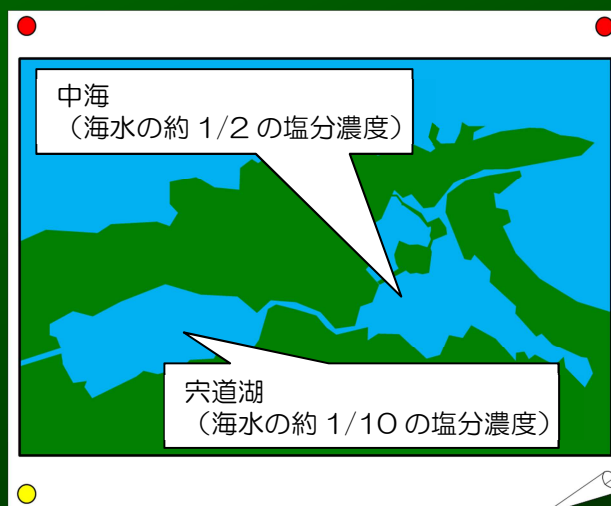
- 【個人】 1) 水防団の役員(団長、分団長等)を15年以上勤務する等、水防作業等に専心し、その功績が他の模範となる者

- 2) 水防技術の向上や伝承、水防体制の整備、水防思想の普及に尽力し、功労のあった者

知ってる？穴道湖、中海のこと

穴道湖、中海の水は、共に川から流れこむ淡水と海水が混じり合う『汽水』ですが、それぞれの塩分濃度が海水と比べてどの位違うのかを知っていますか？

隣り合っている穴道湖と中海ですが、中海の塩分濃度は海水の約 1/2、穴道湖の塩分濃度は海水の約 1/10 と大きく違います。



【編集後記】河川課 企画調査グループ 杉谷亮太

今号では、ラムサール条約登録 10 周年記念となる「穴道湖・中海」のラムサールフェアを掲載しています。私自身もフェアに行き、小学生の皆さんの活動をまとめたポスターなどを見て、穴道湖、中海の大切さを再認識しました。

さて、島根県河川課では、今後も河川・海岸に関する話題を提供したいと思います。バックナンバーは河川課ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

編集者 島根県土木部河川課企画調査グループ

TEL : 0852-22-5647 FAX : 0852-22-5681

mail : kasen@pref.shimane.lg.jp

河川課 しまねの河川と海岸だより HP : <http://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/tayori/index.html>